

令和4年度（2022年度）における 全道的な鉄道利用促進の取組について



みんなで乗れば、
未来が変わる。
考えよう、行動しよう、公共交通の未来。

北海道鉄道活性化協議会

<https://www.hokkaido-rail-k.jp/>

北海道鉄道活性化協議会 令和4年度の事業構成

I 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開

『北海道公共交通利用促進運動』の展開

- ・運動スローガンの普及、企業等の募集、先進的又は実施効果が顕著な取組への表彰
- ・道が実施するノーカーデーとの連携、ホームページによる情報発信 など

ノーカーデーの取組

HPのリニューアル

R4年間事業規模

8,954
万円

II 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大(乗車に繋がる施策の展開)

道民の利用拡大(利用促進の底上げ)

- ・家族旅行、個人・小グループ旅行など鉄道利用の呼びかけ
- ・出張、研修など鉄道利用の呼びかけ



観光客の利用拡大(道内外需要の喚起)

- ・来道旅行者への鉄道利用促進に向けた呼びかけ
- ・鉄道旅等の魅力を伝える映像等の発信
- ・旅行博への出展やエージェントへのPR
- ・有望市場に対する外国人向け周遊きっぷの販売促進



利用促進に向けた地域の取組との連携

- ・ラベンダー編成やH100形を活用した沿線PR企画等の実施
- ・鉄道事業者が運行する観光列車へのおもてなし
- ・2次交通等を含めた子ども鉄道旅体験の実施



道内周遊企画の実施

ラベンダー編成等による周遊ツアーへの支援

乗っとくキャンペーンの開催

ツーリズム EXPO 2022 への出展

インバウンド向けの取組
(インフルエンサーの招聘、JRと連携したPR)

H100形ラッピングトレインの活用支援

観光列車への沿線自治体のおもてなし支援

地域による観光列車の運行支援

子ども鉄道旅体験への支援

北海道
2,800万円
+
市長会・町村会
1,200万円

III 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信

- ・道内外における本道の鉄道網の重要性や役割のプロモーション
- ・ホームページによる地域の取組等の情報発信 など

HPのリニューアル(再掲)

道内外でのプロモーション

「ぐるっと北海道」・交通事業者の感染症対策のPR

北海道
4,954万円

IV 感染症により失われた公共交通需要の回復

- ・交通事業者利用促進支援事業「ぐるっと北海道」の周知
- ・新北海道スタイルを実践している交通事業者の取組のプロモーション
- ・道内の他の交通・観光需要回復施策の集約と発信 など

I 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開

人口減少社会の中で、持続的な公共交通ネットワークを確立していくためには、地域における様々な関係者が、各々の特性や創意を生かしつつ、一体となって公共交通の利用促進に向けた取組を展開していく必要があることから、オール北海道による道民運動を展開する。

参加団体数	内 訳		
	協議会構成団体	市町村	企業・団体
457	15	179	263

(企業団体の参加状況：業種別)

令和5年3月27日現在

運輸・交通	建築・製造	卸・小売	金融・保険	宿泊・飲食	サービス	協議会関連団体	その他
56	24	16	9	6	19	47	86

参加団体の主な取組例

イオン北海道株式会社

電子マネーWAONカードを活用したバス運賃の決済サービスを実施。(平成31年2月から順次)イオン釧路昭和店で、施設内にバス待合所を設置し、地域住民の利便性向上に寄与(令和元年10月)。



音威子府村若手まちづくりグループnociw*

観光列車「風っこそうや号」を盛り上げるため、オリジナルの手ぬぐいを作成。(令和元年7~8月)。音威子府村にて「宗谷本線の未来を語る座談会」を開催し(令和2年1月)。



ノーカーデーの取組

地域連携

北海道だけでなく、地域(旭川、オホーツク、十勝)と連携し、各取組の周知に協力することで、ノーカーデーの推進に寄与



北海道	9/20~10/30
旭川市	6/4、6/25~26、8/1
オホーツク	6/28~9/25、12/5~2/19
十勝	10/17~10/23

HPによる発信強化

HPをリニューアルし、発信力を強化するとともに、各種イベントで、QRコードを掲載したノベルティグッズを配付し、改めて周知を実施

主な修正内容

- ・事業毎に作成してきた特設サイトを協議会HPへ移設
- ・マンガや各パンフレットを、e-book形式で閲覧可能に修正
- ・HPに掲載している過去のコンテンツ(マンガ・動画など)の情報を更新
- ・ピックアップコーナーを設置し、地域の取組のPRを可能に
- ・各ページにCMSを導入し、よりタイムリーな更新を可能に

II 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大 (乗車に繋がる施策の展開)

道内周遊企画の実施

鉄道をはじめとした公共交通の乗車機運を高めるとともに、利用促進につなげるため、公共交通機関の駅など、307箇所のスポットをめぐる、ビンゴ形式のスタンプラリーイベントを開催



- 開催時期 R4/8/11~R5/1/20
- 参加人数 約3,400人

ラベンダー編成等による周遊ツアーへの支援



道及び国の助成により北海道高速鉄道開発(株)が取得したラベンダー編成等を支援するため、JR北海道・JAL・旅行代理店による「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」の運行について、販売促進のためのPRや、車内イベント企画を実施。

- 運行時期 R4/9/30~10/24(計4便)
- 参加者数 約450人



桜木紫乃氏(釧路市出身の直木賞作家)のツアーコース体験記を、ダ・ヴィンチWEB(本とコミックのポータルサイト)に掲載



車内でのお酒販売や、カメラマン同行による撮影サービス、車窓風景を案内するリーフレットや、オリジナルグッズの配付等によるおもてなしを実施

ツーリズムEXPO2022への出展

ツーリズムEXPO2022のJR北海道ブースに出展し、観光での鉄道利用についてPRを実施



- 開催日 R4/9/23~9/25
- 会場 東京ビックサイト
- 啓発物配布数 2,000部

雪まつり会場でのノベルティグッズの配付

さっぽろ雪まつり会場でのコカコーラ+DNPブースにて、ノベルティグッズを配付



- 開催日 R5/2/4~2/11
- 配付数 200部

乗っとくキャンペーンの開催

地域連携

ラベンダー編成等を活用した利用促進と、沿線の魅力PR、地域の活性化を図るため、ラベンダー編成等の写真をSNSへ投稿すると、沿線自治体から、施設利用料の割引や、プレゼント等の特典を受けられるキャンペーンを、宗谷線・石北線にて実施



- 開催時期 宗谷線：R4/4/29~6/10
石北線：R4/10/13~31、R5/1/10~2/28
- SNS投稿数 約500件

II 鉄道をはじめとする公共交通利用者の拡大 (乗車に繋がる施策の展開)

H100形ラッピングトレインの活用支援 地域連携

国と道の支援を受け、JR北海道が新たに運行する「H100形」ラッピング車両の出発式の開催や、サイクルトレインのモニター運行を支援

- **開催日** 10/30 出発式 @釧路駅 (釧網線・花咲線)
2/17 サイクルトレイン 実施報告会
- **サイクルトレイン参加者数** 22名



観光列車への沿線自治体のおもてなし支援 地域連携

「ザ・ロイヤルエクスプレス」や「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」に対して、沿線地域と連携し、住民によるお出迎え(旗振り)等を実施

- **運行時期** ザ・ロイヤルエクスプレス R4/8/5 ~ 9/26
HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号 R4/9/30~10/24
- **参加自治体数** 56市町村



宗谷本線子ども体験乗車会 地域連携

宗谷総合振興局と連携し、鉄道を身近に感じてもらい、公共交通の大切さや魅力を伝えるため、乗車体験会を3回開催し、定員満了となった応募者(215名)へも啓発物を配布し、重要性のPRを実施

- **開催日** R4/6/25、10/15、10/29
- **参加者数** 約100人



地域による観光列車の運行等への支援 地域連携

宗谷本線鉄道観光利用拡大推進事業

音威子府村等と連携し、鉄道利活用の機運醸成や、マイレール意識の向上のため、貸切車両臨時列車の運行によるモニターツアーのモデル事業を実施

- **運行時期** R4/9/23~9/25
- **参加者数** 約70人



SL冬の湿原号 乗客へのおもてなし

釧路総合振興局と連携し、SL冬の湿原号の初日及び最終日の乗客へ、ノベルティグッズ・啓発物の配付による重要性のPRを実施

- **実施時期** R5/1/21、3/21
- **配付数** 約500部



インバウンド向け海外PRの実施

インフルエンサー招聘

北海道レールパスや、沿線自治体の魅力をPRするため、タイ人のインフルエンサーを招聘し、道東・道北を周遊

- **実施日** R5/2/16~20



JR北海道と連携した海外プロモーション

JR北海道が実施する海外PRに協力し、ノベルティグッズ等を提供

- **実施イベント・時期**
Visit Japan FIT Fair (タイ) 1/27~29
Japan Travel Fair (シンガポール) 2/24~26
MATTA Fair March 2023 (マレーシア) 3/17~19



Ⅲ 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信

道内でのプロモーション

鉄道の日フェスティバル（札幌駅南口広場）

- 開催日 R4/10/15
- 実施概要 ノベルティグッズの配布
缶バッジ作成体験



鉄道魅力発信パネル展（アリオ札幌店）

- 開催日 R4/12/8～10
- 実施概要 公共交通のパネル展示
ノベルティグッズの配布



公共交通利用促進パネル展 in チ・カ・ホ（札幌駅前通地下広場）

- 開催日 R4/12/23～25
- 実施概要
 - ・北海道の公共交通、ぐるっと北海道のPR【来場者数約3,600人】
 - ・パネル展示の内容に関するクイズラリー【参加者1,190人】
 - ・北海道大学鉄道研究会の協力によるジオラマ展示
 - ・ペーパークラフトや、缶バッジの作成体験



道外でのプロモーション

道内公共交通の段階的な需要喚起を図るため、北海道への旅行者をターゲットにしたプロモーションイベントを開催

首都圏PR（JR東京駅構内 地下1階スクエア・ゼロ）

- 開催日 R4/7/23～24
- 実施概要
 - ・北海道の公共交通、ぐるっと北海道のPR【来場者数1万人】
 - ・どさんこプラザによる道産品販売【売上約175万円】
 - ・パネル展示の内容に関するクイズラリー【参加者962名】
 - ・振興局やJR北海道によるPRステージ
JR北海道(3回)、釧路総合振興局(2回)、檜山振興局(3回)
 - ・北見市及びオホーツク総合振興局(地場産品の配付)



- 開催日 R5/1/12～19
- 実施概要 物産展「うまいっしょ北海道市」に併設し、公共交通利用促進パネルを展示【来場者数 約4万人】



Ⅲ 本道における鉄道網の重要性や地域の取組等の全国への発信

道外でのプロモーション

関西圏PR（JR大阪駅 旅立ちの広場）

- 開催日 R4/1/28～29
- 実施概要
 - ・北海道の公共交通、ぐるっと北海道のPR 【来場者数 約2,000人】
 - ・パネル展示の内容に関するクイズラリー 【参加者数 1,172人】



首都圏PR（JR新宿駅 西口広場イベントスペース）

- 開催日 R4/2/11～12
- 実施概要
 - ・北海道の公共交通、ぐるっと北海道のPR 【来場者数 約1,300人】
 - ・パネル展示の内容に関するクイズラリー 【参加者 742人】



東北圏PR（イオンモール新利府 北イベントコート）

- 開催日 R4/2/18～19
- 実施概要
 - ・北海道の公共交通、ぐるっと北海道のPR 【来場者数 約2,400人】
 - ・パネル展示の内容に関するクイズラリー 【参加者 1,422人】



Ⅳ 感染症により失われた公共交通需要の回復

「ぐるっと北海道」・交通事業者の感染症対策のPR

「ぐるっと北海道・公共交通利用促進キャンペーン」のPRをインターネット広告、テレビCM、中吊り広告、雑誌紙面広告などにより実施
各市町村等が実施する交通需要回復施策等を取りまとめ、「ぐるっと北海道」と組み合わせたモデルルートを発信

「やっぱり、公共交通だね」というメッセージとともに、交通事業者による感染対策の紹介や、安全・安心で快適な公共交通の利用をPRする広報を実施

